

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年9月21日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年9月21日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【共用プール冷却浄化系の(B)系サンプリングライン手動弁の漏えいについて】 (B)系サンプリングライン手動弁から漏えいを確認。 今後、当該弁の修理を予定。 なお、サンプリングは可能。	GⅢ
2	【雑固体焼却設備(A)周辺のエリアモニタ指示値の上昇について】 雑固体焼却設備(A)系の運転中、当該焼却設備周辺のエリアモニタ指示値の上昇(0.3μSv/hから0.7μSv/hに上昇)を確認。 焼却設備バグフィルタホッパー(A)の詰まりによる影響で指示値が上昇したと推定。当該ホッパーの点検を実施する。	GⅢ
3	【協力企業作業員による業務車両の接触について】 構内G1エリア北側において、協力企業作業員運転の業務車が路側帯に停車している別の業務車両に追突。追突された業務車両の助手席搭乗の協力企業作業員が負傷。救急医療室にて左大腿部打撲と診断。 他の運転者、同乗者に負傷なし。	GⅢ
4	【5号機原子炉建屋機器サンプ(B)系の外堰の溜まり水について】 機器サンプ(B)系の外堰に溜まり水を確認。 溜まり水の流入経路調査を実施する。	GⅢ
5	【1号機ミスト散水設備の空気圧縮機の不具合について】 1号機ミスト散水設備の空気圧縮機(B-1, B-2)が、空気の圧縮運転ができないことを確認。 逆止弁からの空気漏えいと推定。点検を実施する。	GⅢ